

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新越谷校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		カーテン等で仕切り半個室にて対応	
	②	職員の配置数は適切である	○		基準人員＋加配職員で対応	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		年齢、障害特性に合わせた指導訓練室分けを行っている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎朝の清掃＋支援後の消毒作業を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		週1の事業所内会議で適宜検討しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年度、事業所アンケートを実施し改善点の把握改善を行っています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		弊社 HP 内でアンケート調査結果を公表しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		発達支援研究所との連携で業務改善を行っている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		発達支援研究所の定例研修及びブロック内・ユニット内での研修を実施。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを毎年実施し成長把握を行い支援に活かしている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内標準のツールを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに沿って対応している。	

関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を全員で共有し日々の支援に活かしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムの確認を週1のミーティングで行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		指導員同士の情報共有及び交代制で支援を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		イベント時の小集団支援と通常の個別支援を行っている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		データ共有を行い支援に活かしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	週1のミーティングで確認を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録を取り課題を共有し対応している。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングをもとに個別支援計画の原案作成を行っている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	相談支援事業所より電話でのヒヤリングを受け対応している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		発達支援研究所との連携を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	非該当	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	非該当	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	非該当	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の希望を受け園等の機関と連携を図っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	現時点での連携、助言は行っていない。	

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	市内の連絡会はあるが現時点で機能していない。	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後のフィードバックで都度成長をお伝えしている。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者の希望により事業所内相談支援を行っている。	
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に確認しながら説明を行っている。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		お子様の成長を確認し障害特性に合わせた支援計画を作成し同意いただいている。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談支援で対応している。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍の為で対応できていない。	
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対面、電話、LINEを用いて相談の窓口を開設し都度迅速な対応を行っている。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	会報などの案内は行っていないがInstagramで様子を公開している。	
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	○		退勤時に施錠された場所での保管を行っている。	
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		障害特性に合わせた対応を行っている。	
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		管理会社、オーナー、近隣店舗の方の理解を得られている。	
	非常時等の対応	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		月1階の防災訓練を行い活動内容なども掲示している。
㉞		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1の防災訓練で実施	
㉟		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面談時に確認及び敵的な調査で確認	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事提供を行っていないが利用前面談時に確認しています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日常業務の中でのヒヤリハットを共有している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		半年に1度研修を実施し虐待に対する認識を深めている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束に関して事業所内では非該当だが該当するケースを共有している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新越谷校

保護者等数（児童数）： 9 回収数： 7 割合：77 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1		1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	1				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1		1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1		1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	3		1	同じ支援だと飽きてしまうので他の事もできるとありがたい。	支援ごとの変化を付けながら飽きの来ない支援内容を組んでまいります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	4	2		交流機会については感染状況を考え計画してまいります。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2			5		事業所内相談支援を中心に行ってまいります。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			4	3		保護者ニーズを確認しオンラインでの開催も検討してまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6			1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6			1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			3		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			5		避難訓練についての実施状況の周知がされるように取り組んでまいります。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6			1		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6	1				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。